

抵当権の内容 S62-05-3 《#397》

【問】 正誤をつけよ。

地上権に基づき建物を所有しているときは、建物のほか、地上権に対しても抵当権を設定することができる。

【答え】 正しい

《ポイント》 抵当権の内容

2 地上権及び永小作権も、**抵当権の目的とすることができる。**（民法 369 条 2 項前段）

《補講》 抵当権の処分

抵当権者は、その**抵当権を他の債権の担保とすることができる。**（民法 376 条 1 項）

⇒ 転抵当